

塩ビ管と給水栓の 接続方法及び注意点 について教えてください

Answer

1. 塩ビ管と給水栓の接続方法

水道用硬質ポリ塩化ビニル管と給水栓^{注1}との接続には、給水栓継手（給水栓用エルボ、給水栓用ソケット、給水栓用チーズ）（図）^{注2}に給水栓を直接ねじ接合します。この場合、つば部を持った給水栓との接続にはつば部にガスケットをはさんでシールします。つば部を持たない給水栓との接続にはシールテープを用いて接続してください。



図 給水栓継手

なお、接続に当たっては、表「給水栓継手の標準締め付けトルク」にて接続してください。

表 給水栓継手の標準締め付けトルク

呼び径	ねじ呼び	標準締め付けトルク
13	Rp 1 / 2	30N・m
20	Rp 3 / 4	40N・m
25	Rp 1	50N・m

注1：「給水栓」とは、「JIS B 2061給水栓」を適用される単水栓、湯水混合水栓、止水栓、ボールタップ、洗浄弁、洗浄水栓を示します。

注2：「給水栓継手」とは「JIS B 0203管用テーパねじ」に規定される平行めねじを持つ金属インサート継手を示します。

2. 給水栓継手（金属インサート）の施工上の注意

給水栓と給水栓継手の接続の施工上の注意は次のようなものです。

- ・過度の締め付け力によって、給水栓継手の破損、漏水の可能性がありますので、表の締め付けト

ルクを超えないよう注意してください。

- ・給水栓接続時はシールテープまたはガスケット（つば部を持った給水栓）をご使用ください。
- ・給水栓PJねじは、給水栓継手のねじ勘合とは遊びが大きく隙間がありますのでシールテープは多めに巻いてください。
- ・シール剤を使用する際は、有機溶剤を含まないものを使用してください。有機溶剤により給水栓継手が破損、漏水することがあります。
- ・給水栓継手に給水栓を取り付ける際は、継手をしっかりと固定した上で、給水栓をねじ込んでください。
- ・給水栓継手にはパイプレンチをかけないでください。継手が傷付き、破損、漏水の原因となります。
- ・給水栓に荷重がかかるような場所では、給水栓継手の破損、漏水の予防のために、継手をしっかりと固定してください。
- ・厨房等、周囲が高温になる場所では給水栓が熱くなり、給水栓継手に熱が伝わることで継手が軟化し、水圧等で破損、漏水する場合がありますので注意が必要です。

3. その他

（持ち出し栓（ザルボ）との接続）

ねじ部長さの短い持ち出し栓の場合、締め込んだ持ち出し栓が給水栓継手のねじ受口に食い込み、継手の金属インサートと塩ビの界面が破壊され、漏水することがありますので注意が必要です。

（テーパめねじ給水栓との接続）

ねじ部が「JIS B 0203管用テーパねじ」に規定される平行めねじまたはテーパめねじである給水栓と塩ビ管を接続する場合は、「金属おねじ付バルブ用ソケット」を使用することを推奨します。

施工の詳細については、給水栓継手各メーカーの施工要領書等を必ずご確認ください。